

# 軸となる取組・活動

※小中一貫教育構想図の実践に向けて、軸となる取組・活動について、つけたい力を明確にした上で、中学校ブロックまたは各学校で取り組む内容を、学年または一定の学年区分ごとに記載してください。(適宜、学年または一定の学年区分ごとに、実線・枠等の記入や点線の消去をしてください。)

## キャリア教育

### 義務教育卒業時につけたい力

夢をもち、未来を切り拓く力

- ・自ら学ぶ意欲と力をもつ子ども
- ・互いを認め、自らを律することのできる子ども
- ・地域のことを知り、将来、街づくりの主体者となれる子ども

### 学年または学年区分ごとにめざす姿

- ・地域の人々に触れ、生活や特産物等に調べることで、その思いを知り、郷土愛をもつ。
- ・課題解決のための計画を立てて、取り組むことができる。

- ・情報を収集し、それを整理しながら、計画的に課題解決に向かえる力をつける。
- ・よりよい未来を実現するために、社会体験型の学習を積極的におこない、地域や社会にどのようにしたら、貢献したり参画したりすることができるのかを考えることができる。(社会貢献、社会参画を積極的に実践できる子どもの育成)

- ・3年間を通して、未来を拓く力、夢を実現させるための力として「自ら課題を見つけ、それを研究の材料として探究活動を進めて、課題を解決する力」「探究活動の中でインタビュー等やポスター形式の発表におけるやりとりの中で人とかかわる力」「探究活動によって得た知識を、将来の自分の生活に生かすための、知識を活用する力」を身につける

小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

<p><b>取組・活動</b></p> <p>＜伏見板橋小学校の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にこにこ会</li> <li>・あきといっしょに（幼小連携）</li> <li>・防火コンサートや学習発表会リハーサルへ招待（保幼小連携）</li> </ul> <p>＜伏見住吉小学校の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民運動会ダンス（保幼小接続）</li> </ul> <p>＜下鳥羽小学校の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなにこにこだいさくせん</li> <li>・大すきいっぱいいたしのまち</li> <li>・下鳥羽ふれあいカーニバル</li> </ul> <p>※11月19日実施「下鳥羽ふれあいカーニバル」にて販売</p> <p>＜伏見中学校区三小学校の取組＞</p> <p>※11月19日実施「下鳥羽ふれあいカーニバル」にて販売</p> <p>・二分の一成人式</p> <p>・モノづくりの殿堂</p>								
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）

<p>＜中学校ブロックとしての取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域について調べることで、伏見に知り、地域の人がもつ伏見の誇りを感じさせることで、自分も地域の一員であることを自覚させる。</li> <li>・調べたことをまとめて、わかりやすく発表する力を持つ</li> </ul> <p>・地域の人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きに触れ、伏見及び京都の歴史に対する理解を深めるとともに、郷土愛を深める</p> <p>・体験活動を通して、生活と関連させることで、社会のしくみを知り、その社会において自らの生き方について考えさせる</p> <p>・集めた情報から、必要なものを選択し、課題解決に向けてまとめ、プレゼンテーション等を使って発表する力を持つ</p>								
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）

堀川高校のSSHの実践指定を受け、小中が連携をしてポスター発表に取り組んでいる。各校において、教科や総合的な学習の時間などに探究活動を行うことで、課題を見つけ解決する力の育成を目指している。また、その研究結果を、ポスター発表という形式で発表し、まとめをすることによって、自らの考えを発信する力の育成も目指している。

## 学びの約束・ルール

項目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
話し方・聞き方・読み方	(話し方) ①聞き手を見て話す。 ②教室の一番遠くにいる人に届く声で話す。 ③文で話す。 ④理由をはつきりさせて話す。 (聞き方) ①話し手の方に体を向けて聞く。 ②うなずきながら聞く。 ③自分の考えと比べながら聞く。 (書き方) ①丁寧な字で書く。 ②習った漢字を使って書く。 ③書いたら読み返す。				※全校をあげて取り組んでいく。 ※学年が上がるにつれて、質を高めていくようする。 ※読み方については、各学年国語科の目標に準拠。		・小学校で身につけた話形を基盤とし、自分の意見を明確にしながら話す。 ・相手の考えの要点を聞く。 ・書かれていることを正確に読み取る。	・相手意識を持ち、他者と自分の違いやつながりを考えながら、より良い関係作りを目指した話し方、聞き方を身につける。 ・書かれていることを読み取り自分の意見を持つ。	・より良い人間関係の構築を目指し、社会生活の中で活用できる話し方、聞き方を身につける。 ・正確な読みとりのもと、自分の考えを広げ、社会生活の中に活かそうとする。
ノートづくり	(ノートづくりの取組) ① 単元の学習問題や学習課題を書き、青の枠で囲む。 ② 「めあて」を書き、赤の枠で囲む。 ③ 「ふり返り」を書いて、学習のまとめをする。 ④ 調べたことは、教科書や資料の内容をノートにそのまま写さず、自分の言葉で書くようする。 ⑤ ナンバリングをするなどして、考えを分かりやすくまとめるようする。 ⑥ 話型や関係図、矢印、吹き出しなどを使って、考えを深めるようする。 ⑦ 「わかったこと」とそこから「考えたこと」を分けて書くようする。				※学年が上がるにつれて、質を高めていくようする。 ※自主学習ノートでも、「めあて」と「ふりかえり」を書くようする。		・学習内容を整理して復習に活用できるノート・ワークシートを作る。 ・学習のポイントまとめ、板書の写し以外の授業メモ、自分の考え、仲間の考えなどを書き込み、学習の跡、思考の流れが整理されたノート・ワークシート作りをする。		
授業に向かう姿勢	(準備) ①学習が始まる前に教科書やノートなどを机の上に出しておく。 ②ベル着の徹底。 (けじめ) ①授業前と授業後のあいさつをする。 ②話す人が立ったら、すぐに話を聞こうとする。 (姿勢) ①丁寧な言葉遣いで話し、みんなが気持ちよく学べるようにする。 ②分からないうことは、質問したり、調べたりして解決する。 ③友達との学び合いを大切にする。					・授業規律を確立し、授業中の聞く場面・考える場面・表現する場面のけじめをつけ、仲間との学び合いを大切にする。	・主体的に授業に臨み、自分の考えを確立しながら仲間と協働的に学ぶ姿勢を身につける。	・自らの進路展望を持って学習し、将来の社会生活の中で生きる学力を身につけるべく、主体的、協働的に深く学ぼうとする。	